DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 175719

タイエンダー下塗ストロング

1．一般名　エポキシ樹脂塗料下塗　A，B

2．規格　鋼道路橋塗装用塗料標準（2014）

3．特徴
1）アルミ顔料の塗膜内配向により極めて高い環境遮断性を示し、超長期にわたって塗膜下鋼材を保護する。
2）複数の無公害特殊防錆顔料の効果により、塩害環境下において非常にすぐれた耐食性を発揮する。
3）速乾性に優れ、特に低温環境下における施工効率向上に寄与する。
4）エアレススプレー塗装時の作業性に優れ、厚膜での塗装に好適である。
5）ＮＥＴＩＳ登録番号：ＣＧ－２１００１３－Ａ

4．塗料性状

項目		内容						
容姿		2 液性						
荷姿		18 kgｾｯﾄ(主剤：15.3 kg、硬化剤：2.7 kg)						
色相		シルバーグレー、シルバーホワイト						
光沢		ー						
密度 (23℃)	塗料	1.35（シルバーグレー）						
	揮発分	0.86						
加熱残分		73%（シルバーグレー）						
乾燥時間	温度	-5℃	0 ℃	5 ℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	指触	4時間	3時間	3時間	2時間	1時間	40 分	20 分
	半硬化	8時間	6時間	6時間	5時間	3時間	2時間	1時間
標準膜厚		120μｍ						
引火点		ＳＤＳ参照						
発火点		ＳＤＳ参照						
爆発限界(下限~上限)		ＳＤＳ参照						

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。
乾燥時間の評価方法は JIS K5600-1-1 に準ずる。

5．塗装基準

項目		内容						
素地調整*		ー						
調合法		主剤：85 部、硬化剤：15 部（重量比）						
可使時間		-5℃	0℃	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
		12時間	10時間	10時間	8時間	5時間	3時間	1.5時間
温度・湿度制限*		気温：5℃以下、湿度：85%RH 以上						
使用シンナー		エポニックス橋梁用シンナー、又は同夏型						
塗装法	塗装方法*	エアレス塗装						
	希釈率*	20%以下						
	標準使用量*	540g/m^2						
	目標膜厚*	120μｍ						
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	250μｍ						
エアレス塗装条件		1 次圧 0.4MPa (4 kg/cm^2) 以上 2 次圧 12MPa (120 kg/cm^2) 以上						
		チップ№163-417～621						
塗装間隔* (20℃)	最小	1 日						
	最大	10 日						

注）*は、「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6．施工上の注意

(1) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・塩分・金属酸化物、その他の有害な付着物は完全に除去する。
(2) 低温環境下においては、被塗面に結露を生じやすく、塗膜の付着性が損なわれる原因となる。露点管理を実施するなど被塗面の状態を確認した上で塗装作業を行うこと。
(3) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合割合を間違えた場合、塗膜性能の低下や成膜不良を生じる。
(4) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきること。
(5) 主剤粘度は低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで塗料が流動し、取り扱いし易くなる。
(6) 無機ジンクリッチペイント上に塗り重ねる場合のミストコートにはエポニックス＃３０下塗ＨＢ等他塗料を適用すること。
(7) 規定の塗装間隔範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨した上で表面を清浄にしてから塗り重ねを行うこと。
(8) 希釈にはエポニックス橋梁用シンナー、または同夏型を使用すること。
(9) 塗装終了後の使用機器は直ちにエポニックス橋梁用シンナー、または同夏型で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料はこれらのシンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合はラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。

7．関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	第４類第２石油類	第４類第２石油類
有機溶剤区分	第２種有機溶剤含有物	第２種有機溶剤含有物
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	―	―

8．使用上の注意［警告］

安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2023.07

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。